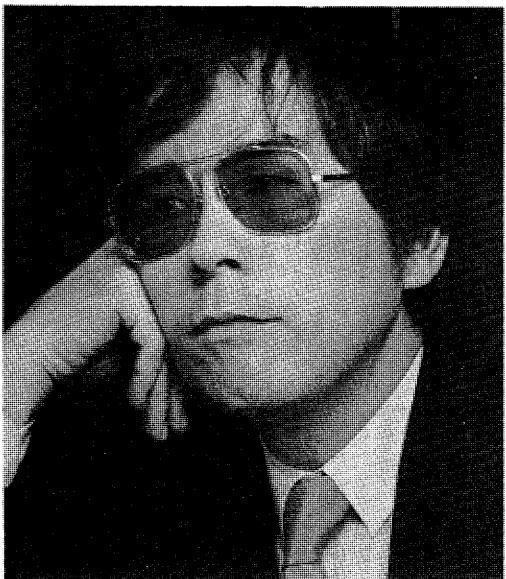


筑波学生新聞新入生歓迎企画

野坂昭如氏が講演



「民主主義」について 筑波大生と対話

筑波大学学生新聞会では、新入生歓迎企画として来たる四月二十日(金)に作家野坂昭如氏の講演会を催します。御存知のように野坂氏は作家として著名である一方、昨年の参院選では比例代表区より立候補。さらに十二月の衆院選では、田中角栄氏の地元新潟三区より立候補。落選はしたものの、その「田中批判」の論理と行動は全国の注目を集めました。野坂氏の主張は、田中問題を「政治倫理」のレベルで捉えるジャーナリズムの論調とは一線を画し、田中派が自民党的軍拡・改憲潮流と結びつき、「いやな時代」が訪れつづることを警告したもののです。一方、この筑波大学は、福田信之学長自ら「田中さんのおかげでできた」と公言する、ダナカ大学であり、そこでは「許可制」を中心とした学内「管理体制」が存在し、從来学問・研究の再編・統合が行われています。この筑波大学の有り様は野坂氏の指摘した「いやな時代」の先取りをするものではないでしょうか。この状況下、筑波大学は七八年、八三年の二度にわたり選挙違反事件を起こしました。若者の政治への無関心の象徴事件として社会の批判を浴びました。今、この両事件を踏まえ、我々の政治への意識が今再び問われています。本講演会は我々筑波大生と野坂氏との対話により「政治」というものを改めて考えてゆく契機としたいと考えております。多数の御来場を御待ちしております。

発行所
筑波大学学生新聞会
編集代表
奥村哲也
〒305 新治郡松村天久保
3-8-13高野ハイツA-105
TEL 0298(52)4460
振替 宇都宮6-31450

宣伝号

野坂昭如氏講演会

新入部員募集

野坂氏プロフィール

野坂昭如（のさかあきゆき）

一九三〇年、神奈川県鎌倉市に生まれる。父、

湯島副知事・越山会幹部となる。少年時代は

張鶴谷家の養子として神戸に育つが、

戦災死の後、野坂姓に戻り、実父に引き取ら

れる。旧制新潟高校を経て、五〇年に早大仏

文科に入学。大学時代は実家からの送金は酒

大洗い、薪割り、基地労働者、偽D.D.T販売

不動産営業部員などを経験。大学は五七年に

抹籍処分になる。その後、芸能マネージャー、

C.M.作詞家・漫才師などを経た後、作家活動

に入る。六八年直木賞を受賞し、現在まで

第一線で活躍を続けている。

野坂氏は戦中派でも戦後派でもない、「焼跡

新聞市派」を自称する。代表作としても、荒涼

とした「焼跡」を舞台に大日本帝國崩壊後の

権威の喪失と無力感、大人達の責任を描いた「一九四五・夏・神戸」、火垂るの墓

や戦後から高度成長期の社会を背景に奇妙な人間関係のゆがみを描いた「エロ事師たち」、「アメリカひじき」などが知られています。

また、学園紛争のさ中、全共闘に対し、「心

情三派」として支持を表明して以来、安全保障、原子力発電、食糧問題、その他政治一般

について、状況への発言を繰り返している。自らも政治活動を始め、七四年に参院選地方区で立候補するも惜しくも次点で落選するが、八三年には参院比例代表区で二院クラブより当選。更に同年十二月の衆院選では新潟三区より立候補、田中角栄氏に正面で二回も挑んだのは記憶に新しい。

◎野坂昭如氏講演会

テーマ：「ぼくは民主主義を守りたい

（野坂昭如闇いがたの流儀）

日 時：四月二十日（金）

開場PM5:00開演5:30

※入場者数に限りがあります

ので、お早めに御来場下さい

